

ハシ・メンテナンス

(安田女子大学の学生を対象とした橋梁メンテナンス活動)

開催結果報告書

<目的>

学生に橋梁の現状やインフラメンテナンスの重要性について学んでもらい、興味関心を持ってもらう。橋梁の清掃や点検を行うことで、日頃無意識に使っている身近なインフラの大きさに気づききっかけにしたい。そして地域社会との関係を築き、地域の人々との対話を通じて社会課題を認識し、その解決に向け共に活動することにより、地域社会からの信頼を得ることを目的とする。

<概要>

開催日時 : 令和5年10月28日(土) 13:00~17:30

開催場所 : (事前学習・活動のまとめ) 広島平和記念公園レストハウス
(点検・清掃) 相生橋

主催 : NPO法人 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会

協力 : 株式会社 アイ・エス・エス

支援 : インフラメンテナンス国民会議ちゅうごく

<スケジュール>

1. 事前学習 (13:00~13:45)
2. 橋梁点検 (13:45~15:00)
3. 橋梁清掃 (15:00~16:30)
4. 活動のまとめ (16:30~17:30)

<参加者>

学科	人数
現代ビジネス学科	6人
ビジネス心理学科	2人
造形デザイン学科	2人
児童教育学科	2人
合計	12人

<事前学習>

◆「日本の橋梁とメンテナンス」

橋梁の老朽化の現状やメンテナンスの重要性についての講義を行いました。



老朽化の現状

建設後50年を超える橋梁

2023年	2033年
全国 約 39 %	全国 約 63 %
広島県 約 58 %	広島県 約 71 %

日本の橋梁は高度経済成長期に集中的に整備されており、今後急速に老朽化することが懸念されている。

一般市民でも出来るインフラメンテナンスとその実践

橋が劣化する主な要因

水

橋面上の排水溝や道路脇に土やコケ、草などがあると排水できない



◆ 点検方法について

橋梁チェックシートを使った点検方法だけでなく、橋梁の部材名称とその役割、簡易橋梁点検活動記録の作成方法について説明しました。



「簡易橋梁点検チェックシート」の使い方



各名称ごとに点検してほしい項目が書かれているので、症状の有無、部分的か広範囲か、などを記入していきます

その他、気づいたことがあれば、右下の枠内に記入してください

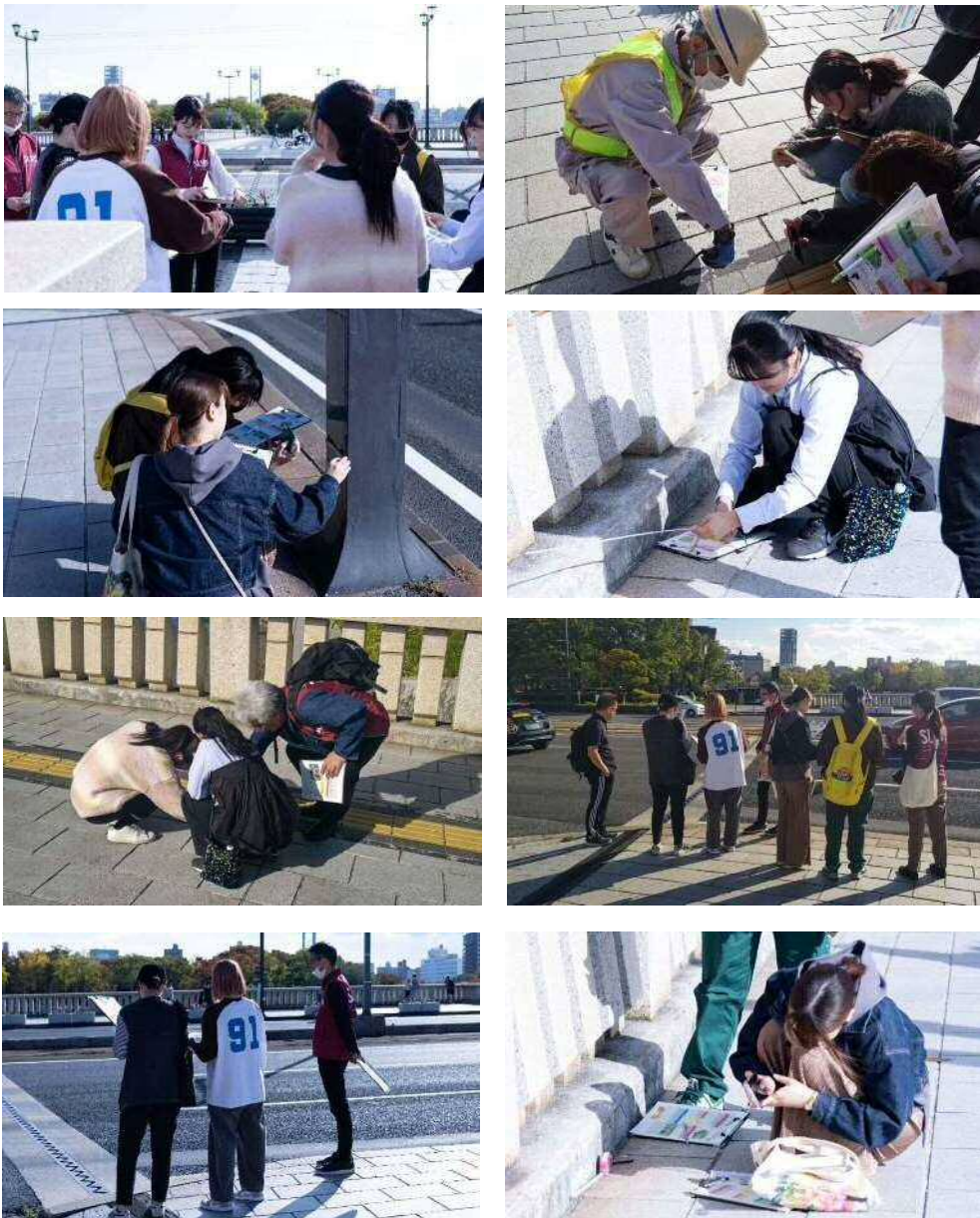
簡易橋梁点検活動記録 について



点検・清掃が終わったら、簡易橋梁点検活動記録を作成します。危ない箇所が見つかった場合は皆さんの報告シートを、橋を管理している広島市に提出します！すると、広島市が修理してくれます！

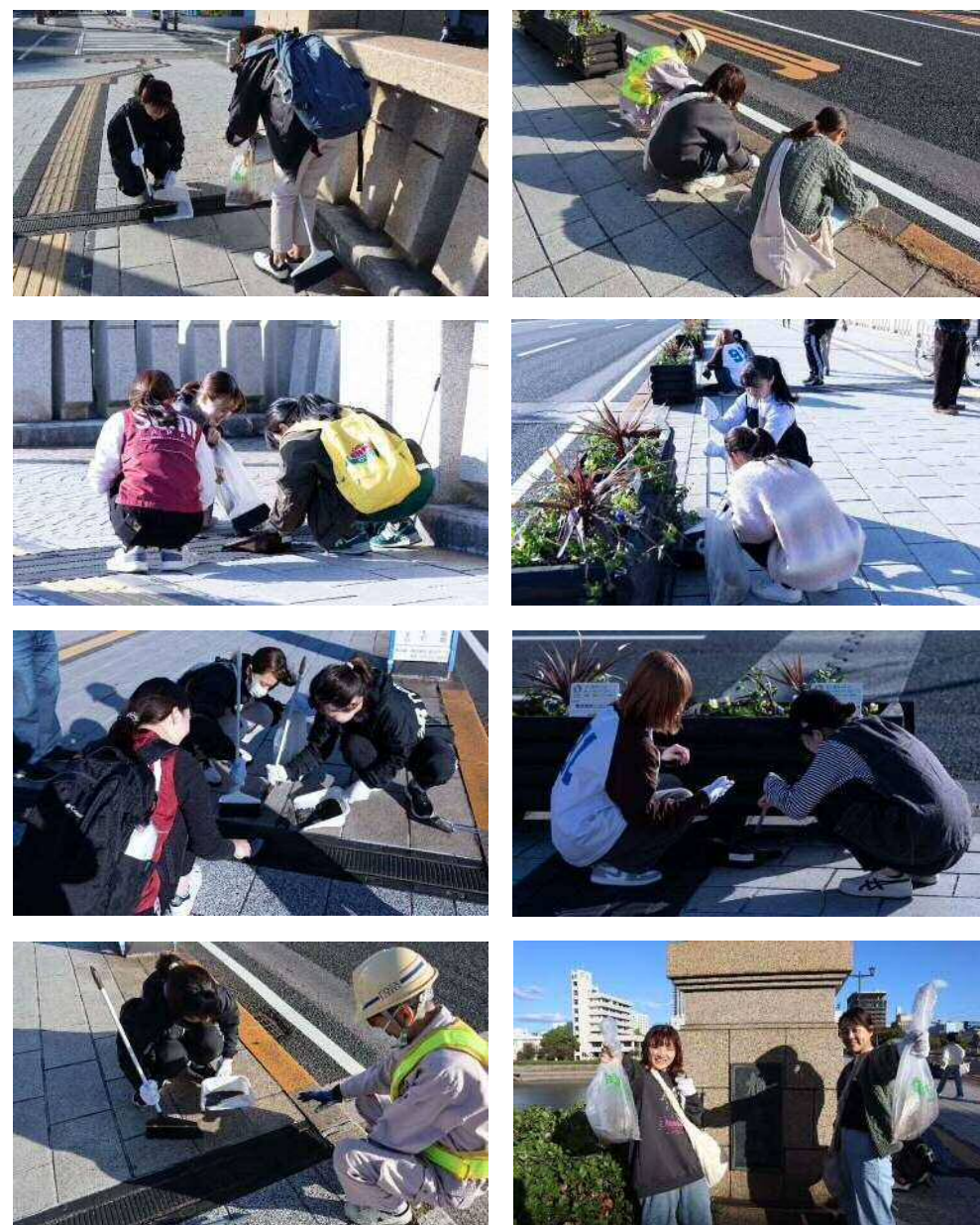


<橋梁点検>



舗装部のタイルの浮き、照明のボルト欠落等の損傷箇所が見つかりました。

<橋梁清掃>



伸縮装置に詰まったゴミの除去、歩道の掃き掃除などを行いました。

<活動のまとめ>



橋梁点検チェックシートを使って点検した結果や点検した箇所を撮影した写真を「簡易橋梁点検活動記録」にまとめてもらいました。

損傷・汚れ(損傷箇所には番号を振り、全体図上に撮影した箇所を記入しましょう)	
	写真番号:8 特記事項:舗装の損傷 約2.6mの段差があり危険。
	写真番号:9 特記事項:舗装の損傷 車道に大きな凹凸があり、危険。
	写真番号:11 特記事項:高欄のひび割れ ひび割れているところが数か所みつけた。
	写真番号:12 特記事項:高欄の欠損 高欄が欠けていた。
	写真番号:13 特記事項: 約5cmの欠損があった。

清掃前後の比較	
	写真番号:14 特記事項:清掃前 雑草
	写真番号:15 特記事項:清掃後 雑草
	写真番号:16 特記事項:清掃前 花壇
	写真番号:17 特記事項:清掃後 花壇
	写真番号:18 特記事項: 欠けたブロックを交換した。

▲学生さんに作成してもらった簡易橋梁点検活動記録の抜粋

今回の橋梁点検によって見つかった損傷箇所については橋を管理している広島市へ報告し、一部修繕していただきました。

相生橋 損傷箇所報告

2023/10/28(土) 相生橋の橋梁点検・清掃活動における損傷箇所を報告する。

点検橋梁：相生橋

住 所：〒730-0011 広島県広島市中区基町22-1



損傷箇所 ※広範囲又は、複数箇所ある場合は損傷箇所を示していません。



損傷箇所	
番号：①	損傷内容：目地の剥がれ
	
<p>土工部と橋梁部の高欄の境にある目地が剥がれかけていた。</p>	
番号：②	損傷内容：伸縮装置の損傷
	
<p>歩道部の伸縮装置のゴム部分が170mm裂けていた。</p>	
番号：③	損傷内容：照明の塗装剥がれ
	
<p>照明の下部の塗装が錆びて割れていた。</p>	

番号：④⑩	損傷内容：舗装の損傷
	
<p>点字ブロック横の150 x 100 x 30mmのブロックが外れている箇所が複数見受けられた。隙間から土が入り盛り上がっていた。</p>	
番号：⑤	損傷内容：地覆の欠損
	
<p>地覆の表面が300 x 60mm剥がれていた。 地覆の剥がれに関しては⑤の場所以外にも広範囲に剥がれが生じていた。</p>	
番号：⑥	損傷内容：滑り止めの剥がれ
	
<p>画像の黒いラインの用途が滑り止めかわからないが、点字ブロック周りの滑り止めのようなものがほとんど剥がれていた。</p>	

番号：⑥	損傷内容：地覆の鉄筋露出
	
<p>鉄筋切断を埋めていた箇所が剥がれて、鉄筋が見えている箇所が複数見受けられた。 地覆の鉄筋露出に関しては⑥の場所以外にも広範囲に生じていた。</p>	
番号：⑦	損傷内容：照明のボルト紛失
	
<p>照明の蓋部分のボルトが紛失していた。 欠けも生じていた。</p>	
番号：⑧	損傷内容：伸縮装置の浮き
	
<p>伸縮装置の40mmほどの浮きが見られた。浮いている隙間に枯葉や泥、石が入り込んでおり、つまづく原因になる可能性がある。</p>	

番号：⑧⑨	損傷内容：高欄のひび割れ
	
<p>⑧では130mm程度のひび割れが生じていた。 ⑨は歩道拡幅部の高欄にひび割れが生じていた。点検（マーキング）された箇所あり。</p>	
番号：⑨⑩	損傷内容：舗装のひび割れ
	
<p>舗装部の石タイルにひび割れが生じていた。</p>	
番号：⑫	損傷内容：舗装の損傷（車道部）
	
<p>土工部側の車道の舗装に凹凸あり。</p>	

相生橋 損傷箇所修繕報告

10月28日に開催した、「ハシ・メンテナンス」で安田女子大学の学生と橋梁点検及び橋梁清掃を実施しました。

点検時に発見した橋梁の損傷箇所を報告書にまとめ、広島市に提出したところ、相生橋が修繕されていました。修繕内容は下記の通りです。

< 修繕内容 >

・舗装（車道部）

【 修繕前 】

伸縮装置付近（土工部側）の舗装に凹凸が見受けられました。



(損傷箇所：①)

【 修繕後 】

コンクリートで埋められていました。(画像2枚とも損傷箇所：①)



(損傷箇所：①)



(損傷箇所：①)

・舗装（歩道部）

【 修繕前 】

点字ブロック横の150 x 100 x 30 mmのブロックが取れてなくなっている箇所が複数見受けられました。また、外れたブロックの隙間から土が入り盛り上がっていました。



(損傷箇所：②)



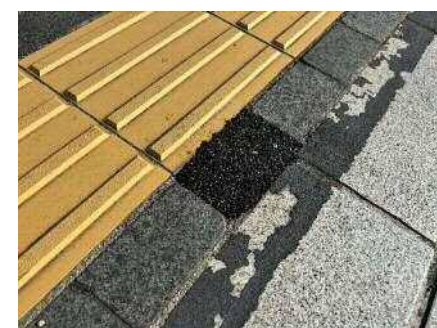
(損傷箇所：③)

【 修繕後 】

画像②は動かないように接着されており、画像③④⑤はコンクリートで埋められていました。



(損傷箇所：②)



(損傷箇所：③)



(損傷箇所：④)



(損傷箇所：⑤)